

2024 年 7 月
No. 469 号

モーリンググループ

// 新入社員のご紹介 //

Welcome
Morimatsu



かとう はるか
はじめまして 加藤 遥 と申します。

【配属】森松株式会社 企画営業部 【趣味】映画鑑賞・旅行
【意気込みを一言】

4 月より入社させていただきました。

前職では製造業で、自動車部品の工場で半導体デバイスを作っていました。

ただものを作るだけではなく、お客様の声を聴きながら新しいものを創り出すものづくりをしたい！と思い森松に入社しました。営業職は初めてのチャレンジで至らないところも多く皆様にご迷惑おかけすると思いますがご指導よろしくお願いします。

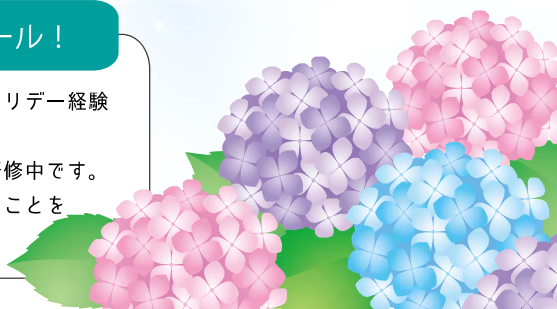


社長よりひとことエール！

加藤遥さんは海外でのワーキングホリデー経験もあるアクティブな方です。

森松では初の女性営業として現在研修中です。

海外も営業エリアに含めて活躍することを期待しています！



新たな期を迎えて

森 直樹（代表取締役社長）



6 月 20 日が過ぎ、森松も新たな期に入りました。社内的には森松の変革していく期にしたいと考えております。年始に波紋にて発表した内容と被りますが、「評価制度」は引き続き策定に向けて準備中です。また森松で働く人が手にしている行動規範、「モーリン語録」も改めてその内容、そして使い方と全体的な見直しを進めていきます。このような変革の背景として、我々の働く環境が変わりつつあるということがあります。コロナ禍が明け、以前とほぼ同じ日常が戻ったとはいえ、我々の環境も変化があります。樹脂全般のコストアップは言うに及ばず、輸送費、電力費といった付随する費用も上がり、またプラスチック製品をただ消費するのではなく、その製法から使用後の過程までも関心が高まっています。製造者側、消費者側いずれからしても環境配慮が出来ることが求められます。そのためには常に新たな商品商材・技術と得意先を繋いでいく情報こそが我々の重要な資源です。そして我々自身がそういった資源が集まってくるような動きが出来るか、これはどれだけ情報を発信することが出来るかによります。またあらゆる情報がネット上に出ているわけではありません。そのような些細な情報も仕事においては重要です。これら、どんどんと情報伝達のスピードが上がり、また広がり方も拡大しているのが現在です。また、我々の働き方も多様化しています。同業、異業種を問わず様々な経歴の方が入社する中で、一日でも早く森松の仕事に慣れ、戦力となってもらうために何を優先すべきか、我々の価値観が「モーリン語録」にも表れていますがそれをさらに補完するためにも「評価制度」策定を進めていきます。



JAF ホームライフサポートってご存じですか？ JAF がトラブルジャパンベストレスキューシステム（JBR）と連携しロードサービスと同様に「24 時間 365 日おうちのトラブルにいつでも対応」という新しいサービスです。内容は①水回り（例：トイレが詰まって流れない）②カギ（例：玄関のカギをなくして家に入れない）③ガラス（例：窓ガラスが割れて危ない）④電気（例：スイッチが壊れて照明がつかない）⑤建具（例：蝶番が壊れて閉まらない）などなど 5 つのトラブルに対応しています。詳しく内容を知るために料金表を見ましたらそれぞれ 5 つのシーンから約 150 件のサービス内容が豊富に記されていました。料金は JAF 会員であれば 2200 円 / 年（税込）一般 3300 円 / 年（税込）で基本料金（出張料・作業料）が無料になります。但し、原則 60 分以内の作業でそれを超えると別途費用が発生します。また、契約者のほか、二親等以内の親族（実家や一人暮らしの子供など）であれば同料金で二世帯の契約も可能です。この情報を知り、これはお値打ちなサービスかも？ちょうど、わが家のトイレ、洗浄機付き便座の調子が悪く交換を検討しており、作業料金表を見てみると「便座の取り換え」「取り外し引き取り」の内容もあり、確認のため問い合わせたところ時間内で済めば無料で対応可能とのこと。早速、入会してみました。便座を購入後、交換日の日時を予約。当日、サービスの方が来られ作業開始。あいにくトイレのタンクと便座をつなぐフレキシブルホースは交換の際、新しいものが必要とのこと。購入した便座の取説にも同様な内容が記されており、材料費別途料金（3850 円）で承諾。（後日、ホームセンターで調べてみたところ 1000 円程度であった。しかたない、確認不足であった）作業はテキパキと行っていたが 60 分以内で終了。取り外した便座も持ち帰って頂きました。ちなみに作業員へ通常の料金を聞いてみたところ一般的には 15000 円ぐらいとのことであった。フレキシブルホース代は支払ったものの、実際には無料で済みました。わが家も築 30 年を超えており、今後何らかのトラブルもあることでしょう。ロードサービス以上に使用頻度は多くなると思います。暮らしの安心・安全を電話一本で駆けつけてくれるサービスは便利でお値打ちと感じました。

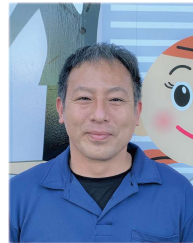
どっちな～

吉岡 孝記（営業部）



2 か月ほど前に肩に痛みが有り、整形外科を受診しました。レントゲンを撮ってもらいましたが、骨に異常はなく、とりあえず痛み止めを飲んで様子を見る事になり、次回の予約をとりましたが、翌日から痛みが腕に移り、しまいには指先がしびれるようになりました。仕事終わりに近所の整体院に行くことにしました。整体院で見ていただくと、頸椎のヘルニアかもしれないとのことで、通院するように言われ、通院しました。施術後は痛みが引き楽になるのですが、少し経つとまた、痛みが出ます。整形外科の予約日になり痛みの具合を説明し整体院に行ったことも伝えましたが、整体院はおすすめてできないと言われ前回より強い痛み止めを出していただき様子を見る事になりました。すると 2 週間ぐらいで痛みが引き完治いたしました。整形外科の先生に原因を聞きましたが、わからないそうでしたが、たまにある症状で年齢的な物ではないかとの事でした。今回は整形外科で処置してもらい正解だったと思いますが、少し昔の事を思い出しました。子供が小さい時に祖父の見舞いに病院に行ったとき帰る帰らないで子供が駄々をこね、妻と腕のひっぱりあいになり、肘が抜けたようになり、泣き出したため、ちょうど病院だったので整形外科を受診しシップをもらい帰りましたが、翌日に痛みがひどくなり休日にやっている整体院を探し 1 時間ほどかけて受診しました、腕持っただけの数秒で治りました。病状によりどこの科へ受診すればいいか迷うときがあります。手間でも何か所か行くことも大事だと感じました。ただ、強い痛み止めを飲み始めてから胸に痛みが出るようになり、薬をやめてから痛みが出なくなりました。薬が合わなかったのでしょうか、現在、今度は足に痛みが出てきました、どこへ行こうか迷っています。年は取りたくないものです。





月といえば月見。月見といえば十五夜。十五夜といえば団子。のようなイメージをパツとしちゃいます。そして、月をお団子に見立て、そのお団子の上にあんこをのせる…豆の風味、一粒一粒の食感、あんこらしい色、やさしい甘さ、おばあちゃんの味、最高です。そういうことです。これが月です。いや、違います。甘党だとなっちゃいます。きっと、館ひろしもこうなります。月のことですが、数ヶ月前に家族で出掛けた帰り道、子供達が「月がずっとついてくるよ～」と、特に長男は「恐竜が見てる。怒った恐竜がずっと見てる。ずっとついてくる。こえ～」と言っていたので、脅かしながら話を聞いてみると、月のかたちで恐竜の表情が変わって見えてるみたいです。「そうか～、そういうふうに見えてるんだ。」と思い「いいね～、豊かだね～」と、少し親バカを発揮！そういえば自分も昔、親の運転する車の中



で、月がずっと追いかけて来るって思ってた時期があったな～と、懐かしさを感じつつ頭の中で幼少期の過去にタイムスリップ！…。ついでに、その頃のいろんなことを思い出し、あの頃はよかったな～…。最高だったな～…。いろんな意味で自由だったな～…。なんてことを思い浮かべため息を1つ2つ。はい、現実に戻ってまいりました。これが人生。そして、おはぎを食べたい。そんなことを思っただけで終わりにします。月も子供も面白いですね。

带状疱疹

齋藤 直（配送部）



4月に带状疱疹になりました。目に違和感があり充血がありましたが、気にもとめてい wasn't でしたが段々と激痛になり眼科に受診したら、多分带状疱疹だろうから皮膚科に行くようにと言われ、その足で皮膚科に行ったらその通りでした。名前の通り带状疱疹ができる病気で目の際から頭にかけて発疹があるのに気づきました。带状疱疹という名前こそ聞いたことはありましたが、どんな病気かまったく知りませんでした。CMで見る50歳過ぎたらワクチンを打つくらいで、自分も50歳を過ぎたら打ったほうがいいかなと思っていたほどです。带状疱疹とは、子供の頃に掛かった水ぼうそうのウイルスが体に潜んでいて、加齢や免疫

力低下などでウイルスが元気になり带状疱疹を引き起こします。体のどこに疱疹ができるかは人それぞれ違い、多くは肋間神経のある胸や背中が多いそうですが、目の近くにできると結膜炎や失明を、耳周辺では難聴やめまいなどの合併症を引き起こします。自分は目の際にでき、目の充血、痛みは带状疱疹による結膜炎との診断でした。発疹自体は4・5日で収まりましたが結膜炎や神経痛は今でも疲れると軽く痛みます。森松の人達も発症している人も多く身近な病気です。いつまでも若い気でいましたが、体は正直です。改めて、規則正しい生活習慣や十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動などを心掛け、健康を維持し病を未然に防ぎたいと思います。みなさんも気をつけてください。



☆七夕にまつわるお話☆

☆織姫（おりひめ）さまと彦星（ひこぼし）さまが天の川を渡って、1年に1度だけ出会える7月7日の夜のこと。短冊に願い事を書いて、笹竹に飾り付けます。かつては旧暦の7月7日だったので、現在でいうところの8月上旬～下旬ごろ。七夕は、遊んでばかりで働かなくなった織姫と彦星を戒め、働くことを条件に年に一度だけ再会することが許された「七夕伝説」をもとに、技芸の上達を願う「乞巧奠（きっこうでん）」が生まれ、日本古来の「棚機つ女（たなばたつめ）」の伝説や、「お盆前の清めの風習」などが結びついて現在のようなかたちになりました。ちなみに七夕と書いて「たなばた」と読むのは、日本では古来、神事などに使う高貴な布を織る行為をたなばた（棚機）と呼んでいたためだそうです。

☆七夕飾り・笹飾りで短冊に願い事を書くのはなぜ？

短冊に願い事を書くのは、「乞巧奠（きっこうでん）」に由来します。「乞巧奠」では、貴族が手芸、詩歌、管弦楽、文字などの上達を願い、梶の葉に文字を綴っていました。これを見ると、物事の上達や、努力で成し遂げられる夢や目標を願うという印象があります。

いかがでしたか？意外と知っているようで知らない七夕のお話でした。ぜひ皆さんも、今年は短冊に願い事をしてみてはいかがでしょうか。

京都日帰り旅

野間 秋子（森松産業）



先日、京都の大学に通うため下宿している長男のところへ荷物を運ぶため、家族で行ってきました。使っていないソファベッドがあり、それを持って来て欲しいと長男から要望があったので、主人と次男と愛犬も一緒に行ってきました。息子達が大きくなり予定が合わず、家族で出掛けることが少なくなっていたので、久しぶりの機会でした。長男の部屋にソファベッドを運び込み（その前に大掃除をさせてもらいました）近くのお蕎麦屋さんでサッとお昼を済ませ、ずっと待たせていた愛犬を嵐山近くのドックランに遊ばせに行きました。犬より人間好きの愛犬は、可愛い犬が寄って来て遊ぼうと誘ってくれましたが、塩対応…。その代わりよその飼い主さんに愛想を振りまき、彼なりの楽しみ方をしていました。その後は混雑している嵐山を避け、今宮神社に行きました。お目当て



はこちらの参道にある『あぶり餅』という、門前菓子です。あぶり餅とは、一口サイズに小さくちぎったお餅を竹串に刺し、きなこをまぶしてから炭火で焼き上げたものに白味噌仕立ての甘いタレを絡めた昔ながらの餅菓子です。あぶり餅は無病息災、厄除け、長寿のご利益が得られるそうです。お店は向かい合わせで二軒あり、どちらも並んで待っている人がいました。店先で焼いている様子を見ながら待っているとすぐ席に通してもらいました。外の席もあるので犬連れでも安心でした。炭火で焼かれたお餅は香ばしくとても美味しかったです。お目当てのものが食べることが出来、家族にも大好評で大満足でした。夜は長男がバイトをしている飲食店で食事をして、長男と分かれ名古屋へ帰って来ました。家族と楽しい時間を過ごすことができ、良い一日になりました。